

## 2021 若槻地区夏祭り予定表

※コロナウイルス感染拡大防止のため、日程の変更や縮小・中止になる場合があります

地区名	日 時	場 所	内 容
檀田	8月13日(金)19:00	檀田公園	盆踊り(未定)
	8月22日(日)8:30	若月神社	天神祭り(神事のみ)
稲田	8月14日(土)夕方	稲田神社	盆踊り・花火大会
田子	7月23日(金)20:00	船地藏尊広場	船地藏尊祇園祭・獅子舞
上野		中止	
吉		中止	
若槻東条		中止	
若槻団地		中止	
東徳間		中止	

いっぱいあそんで いっぱいおひるね

## いなとく親子広場ぐーぐー

遊びに行くところがなくて困っている  
0歳～未就園児の子をもつ保護者さん  
ぐーぐーへ遊びにきませんか？

日 時 9:30～11:30 月2回ほど(不定期)  
場 所 稲田徳間地区センター2階  
(ツルヤ徳間店のサンロードを挟んで向かい)  
会場費としてひと家族様100円頂戴いたします  
開放日は公式LINEにてお知らせ  
(子育てサークルボランティア)

友だち追加 QRコードを読み込んで  
友達追加はこちらから→



## 山千寺に春の名残を追って

### 第1回自然遺産散歩会実施報告

4月24日(土)、山千寺正門前で受付と挨拶で2年ぶりの自然遺産散歩会が始まりました。何分今年は「異常」が付くくらい季節が早まり、満開時期が過ぎてしまいましたが、名残の花を見ることが出来ました。

いかにも古木、幹回り6mを超えた木肌は曲線と深い溝を複雑なまでに露わにして猛々しく樹齢500年の風貌を遺憾なく主張しています。圧倒される存在感が目の前に立ちだかっています。天然記念物に指定されてもおかしくなれないと思いました。

山千寺のもう一つの見どころ、観音堂について詳しい話がありました。建設から200年を経て傷みが激しく、以前から修復の話が出ているが資金難のため手が付けられず今に至っているとのこと。数年前から保存会で会員有志により資金を積立しているが最低でも数千円かかると言われる金額には程遠いのが実情です。地域の文化財として地区全体で支援していただければありがたいと保存会のガイドが切実に訴えられていました。地域の貴重な歴史遺産、文化財としてみんなで支えていきたいと思いました。

#### ■樹齢500年という話について

「信玄駒つなぎの桜」と呼ばれているが、いつの時代からこの呼称が付けられたかはわからない。仮に「信玄が戦勝祈願のため山千寺を訪れた折、乗って来た馬を境内のサクラの樹に繫いだ」という故事を前提として樹齢を検証してみ

ると、凡そ500年と推測されます。

①北信濃に進出してきた信玄が山千寺と接する機会があるとすれば何時か。

・信玄が山千寺に参詣する機会を推定すると、第2回川中島合戦(1555年)の折、旭山に陣取った配下の栗田氏に武器の支援をした時期が最も早い機会と考えることが出来ます。

・次は、上野原で戦った第3回(1557年)で北信濃を実質支配下におさめた時。この時点で、464～466年を経ていると考えられるとのこと。因みに、信玄は第3回と第4回川中島合戦の間の1558年、戸隠中院に戦勝願文を奉納しています。

②信玄が乗っていた馬はそれなりの名馬と考えられ、しかも総大将の馬です。繫ぎとめるに足る樹はそれなりの姿かたちと太さが求められるでしょう。

それに相応しい樹齢として凡そ30年と考えてみます。

以上を併せて推測樹齢を500年と結論付けた。というのが山千寺ガイドの「推論」とのこと。

観音堂に登って振り返ると、信玄駒つなぎの桜越しに善光寺平の家並みが淡い春陽の中で輝いています。一幅の絵画かと思ふほどの眺望が目に飛び込んできた。空気の澄んだ冬は格別に美しいというガイドの言葉に納得と期待をもらいました。

(自然環境部会)

## 目に染みる新緑の中で

### 第1回自然観察会実施報告

5月15日(土)、昭和の森公園において2年ぶりに春恒例の自然観察会を開催しました。

今回は協働団体NPO法人長野市環境緑化協力会からの要望で参加者を15人(家族参加は1人とカウント)限定として実施されました。

自然観察指導は今回から大塚講師に変わりました。

講師の先導ですっかり若葉に覆われた「昭和の森」に入ります。歩きながら足元の草花や周りの木々をミツバアケビとアケビが隣り合っているのは珍しい、カツラも気付いてほしいと匂っている、昭和の森の常連ヤブラン、ウバユリ、マムシグサは花にはまだ早い、少なくなったニホンタンポポと侵略拡大する西洋タンポポの見わけ方、ハルジオンとヒメジオンの違い等の話に聞き入りながらの散策でした。凝縮された里山の自然が溢れる昭和の森公園を大切に守る

事の大切さを学んだ観察会は予定時間をあっという間に過ぎました。

その後フィッ

トネスセンターの裏に戻り、後半のイベント「キノコのコマ打ち」に移行します。菌を植え込む原木は太い方が長くキノコが取れると聞かされ、皆さん原木の山から太めの樹を引き出して確保していました。NPOのメンバーの手伝いもあって穴あけ作業は手際よく進みコマを打ち込む木槌の音がしばらく辺りに響き渡っていました。

参加された皆さんは5本、6本と予想より多く確保できた原木を抱えて満足げに帰路に就きました。(自然環境部会)

